

2003年6月26日

**論理分割機能を搭載したエンタープライズサーバ「AP7000/60L」と
オープンシステムとの連携機能を強化したオペレーティングシステム
「VOS1/LS」および「VOSK/LS」を販売開始**

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO: 古川 一夫、以下 日立)は、このたび、最新の POWER4+プロセッサを採用したエンタープライズサーバ「AP7000」に、オペレーティングシステム「VOS1/LS」または「VOSK/LS」とUNIX オペレーティングシステム AIX 5L とのシステム環境の共存を実現する論理分割機能(LPAR)(*1)を搭載した「AP7000/60L」を製品化し、7月1日から販売開始します。

また、「AP7000」の全モデルに対し、オペレーティングシステムである「VOS1/LS」および「VOSK/LS」において、オープンシステムとの連携機能を強化しました。

同時に、日立ディスクアレイサブシステム「SANRISE9570V」や磁気テープ記憶装置(LTO)(*2))など I/O 装置との接続機構や、公衆回線や専用線を利用したデータ送信のための回線接続機構を「AP7000」本体に内蔵できる「内蔵回線アダプタ」を、オプションとして追加しました。

*1) LPAR : Logical PARTition、1 台のサーバを論理的に複数のサーバに分割し、複数システムの共存環境を実現する機能

*2) LTO : Linear Tape-Open、磁気テープ記憶装置の規格

「AP7000/60L」は、最新の POWER4+プロセッサを採用し、論理分割機能(LPAR)を搭載しました。LPAR により、従来からの豊富な情報資産を継承する VOS1または VOSK の基幹システムと、多彩なオープンシステムのソフトウェアに対応する AIX システムとの共存環境を実現します。これにより、基幹業務とオープンシステム業務の連携や、一部基幹業務のオープンシステムへの移行を容易にするなど、従来資産を活用した新たなシステム構築や業務運用を実現します。

また、今回、オペレーティングシステム「VOS1/LS」および「VOSK/LS」では、オープンシステムの最新 DBMS(*3) のスケーラブルデータベース「HiRDB V7」や ORACLE 社の「ORACLE9i」とのデータ連携を実現し、オープンシステムとの連携機能をさらに強化しています。

また、「AP7000」の全モデルに、オプションとして、「SANRISE9570V」や磁気テープ記憶装置(LTO)との接続をサポートしました。これにより高速かつ大容量で高信頼で、かつユーザーの用途やシステム環境に応じたバックアップを実現します。さらに、従来は外部装置を用いて実現していた公衆回線や専用線を利用したデータ送受信のための回線接続機構を、「内蔵回線アダプタ」により「AP7000」本体に内蔵しました。これにより、回線接続の低価格化と省スペース化が図られました。

*3) DBMS : Data Base Management System、

なお、今回の製品は、ユーザーがリソースをコアビジネスに集中し、高信頼性かつビジネスの変化に即応した最適なシステムを構築できる環境を提供する日立のサービスプラットフォームコンセプト Harmonious Computing に基づいています。

■ 新製品の価格および出荷時期

1. AP7000/60L (「VOSK/LS」搭載モデル)

製品名	価格	出荷開始
AP7000/60L (VOSK/LS 含む)	約 4,000 万円(税別) ~ (*4)	2003 年 9 月 30 日

*4) AP7000/60L 一式(VOS パーティション部: ディスク 8GB × 2、メモリ 256MB、内蔵 DAT、システム監視制御装置、オペレーティングシステム VOSK/LS 基本セット 1(*5)、AIX パーティション部: 1.2GHz (1way)、ディスク 36GB × 1、メモリ 1024MB、内蔵 DAT 共通部: チャンネル接続ユニット(共用)、管理コンソール、無停電電源装置の価格です。各種工事、サポートサービス、および AIX パーティション部での AIX、ミドルウェアは含みません。

*5) VOSK 基本セット 1(OSCF E5、EAGLE/4GL、ACE3 E2、COBOL85)の価格です。サポートサービス、消費税は含みません。

2. AP7000/60L (「VOS1/LS」搭載モデル)

製品名	価格	出荷開始
AP7000/60L	約 3,170 万円(税別) ~ (*6)	2003 年 9 月 30 日
VOS1/LS	約 49 万円/月(税別) ~ (*7)	2003 年 9 月 30 日

*6) AP7000/60L 一式(VOS パーティション部: ディスク 1.89GB × 2、メモリ 256MB、内蔵 DAT、システム監視制御装置、AIX パーティション部: 1.2GHz (1way)、ディスク 36GB × 1、メモリ 1024MB、内蔵 DAT 共通部: チャンネル接続ユニット、管理コンソール、無停電電源装置)の価格です。各種工事、サポートサービス、および AIX パーティション部での AIX、ミドルウェアは含みません。

*7) 「VOS1/LS」OS 標準セット 1(BCF E4、BSF E4、HCAM/TCP、HCAM/TCP/CSS560、IFIT-IEE E2、AOM)の価格です。サポートサービスは含みません。消費税は含みません。

3. オプション

製品名	価格	出荷開始
SANRISE 接続	約 120 万円(税別) (*8)	2003 年 9 月 30 日
LTO 接続	約 30 万円(税別) (*9)	2003 年 9 月 30 日
内蔵回線アダプタ	約 140 万円(税別) ~ (*10)	2003 年 9 月 30 日

*8) 「SANRISE9570V」と接続するためのチャンネルアダプタの価格です。

*9) 磁気テープ記憶装置(LTO)と接続するための接続アダプタの価格です。

*10) 回線に接続するためのアダプタ、ケーブルの価格です。回線の種類により、価格は異なります。

■ 他社所有商標に関する表示

- ・UNIX は The Open Group が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・AIX は、米国およびその他の国における米国 International Business Machines Corp.の登録商標です。
- ・LTO は、米国における米国 Hewlett-Packard Company/米国 International Business Machines Corp. および米国 Seagate Technology, Inc.の登録商標です。
- ・ORACLE は、ORACLE Corporation の登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名、ロゴはそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ 製品情報のホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/AP7000/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ
エンタープライズサーバ事業部 企画部【担当:中山】
〒259 - 1392 神奈川県秦野市堀山下1番地
TEL:0463 - 87 - 6786(ダイヤルイン)

以上

■ エンタープライズサーバ「AP7000/60L」の特長

1. 最新チップテクノロジーを投入し開発された POWER4+ プロセッサを採用

銅配線テクノロジーや SOI などの最新チップ製造技術を投入した POWER4+ プロセッサを採用し、高性能かつ省電力なシステムを提供します。

SOI : Silicon On Insulator

2. 論理分割機能(LPAR)を搭載

1 台の「AP7000」を論理的に 2 分割し、「VOS1/LS」または「VOSK/LS」と、UNIX オペレーティングシステム(OS)の AIX 5L の共存環境を提供します。AIX パーティション部では、日立のオープンミドルウェアや各種 ISV 製品に対応しており、オープンプラットフォーム環境における柔軟なシステム構築および運用を実現します。

ISV : Independent Software Vendor

■ オペレーティングシステム(OS)「VOS1/LS」および「VOSK/LS」エンハンスの特長

1. オープンシステムとのデータ連携強化

オープンシステムとのデータ連携において、オープンシステムの最新 DBMS(DataBase Management System)に対応します。「VOS1/LS」および「VOSK/LS」の基幹データベースを、PC または AIX サーバ上のスケーラブルデータベース「HiRDB V7」や「ORACLE9i」へ一括コピーしたり、データの同期をとることが可能です。

2. 基幹帳票のオープン連携拡大

従来対象としていたセンタ漢字プリンタ帳票と XMAP 帳票に加え、センタ漢字ラインプリンタ帳票をサポートしました。これにより、基幹業務の変更をすることなくオープンシステムプリンタへ出力可能です。

XMAP : Extended Mapping Service 2

3. メール送信機能の運用性向上

「VOS1/LS」または「VOSK/LS」基幹システム上にあるデータや帳票をメール送信したり、「VOS1/LS」または「VOSK/LS」で発生したさまざまなメッセージを、携帯電話や PDA などへのメール送信する機能に、メール送信ログ情報やアドレス帳の印刷機能をサポートし、運用性を向上しました。

4. OpenTP1-RPC 接続機能のクライアント機能を提供 (「VOS1/LS」のみ)

オープン環境で分散トランザクションシステムを実現する日立のオープンミドルウェア「OpenTP1-RPC」接続機能のサーバ機能に加え、クライアント機能も提供します。これにより、「VOS1/LS」の DCCM3 環境から、オープンシステム側の OpenTP1 環境の DB の参照や更新に対応するため、幅広い業務運用が可能です。

DCCM3 : Data Communication and Control Manager 3

■ エンタープライズサーバ「AP7000」 オプションの特長

1. ディスクアレイサブシステム「SANRISE9570V」との接続をサポート

RAID1 構成に加え、ディスク障害を備えた予防保守機能など、高信頼・高可用(障害回避・対策機能)を実現するさまざまな機能を装備した「SANRISE9570V」と「AP7000」本体とを接続します。

2. 大容量かつ高信頼のバックアップを実現する磁気テープ記憶装置(LTO)との接続をサポート

LTO 装置および LTO オートローダを利用し、信頼性の高いバックアップが可能です。従来の CGMT 装置に比べ、低価格なバックアップソリューションを提供します。

LTO : Linear Tape Open

CGMT : Cartridge MT

3. 「内蔵回線アダプタ」のサポートによる回線接続の低価格化と省スペース化を実現

「AP7000」本体と、公衆回線や専用線を利用したデータ送受信を行うための回線接続機構として、従来の汎用入出力制御装置(UPCE)以外に、「AP7000」本体に内蔵可能な「内蔵回線アダプタ」を提供します。これにより、安価で、場所を取らずに回線接続を実現します。

■ エンタープライズサーバ「AP7000」 ハードウェアエンハンスの特長

1. 内蔵ディスクサブボリューム数の拡大 (「AP7000/60A(VOS1/LS)」および「AP7000/60L」)

内蔵ディスクサブシステムのボリューム数を、これまでの最大 14 ボリュームから、最大 26 ボリュームまでに拡大しました。これにより、事業規模の拡大などによる大容量ディスク装置の増設にも、低コストで対応することが可能となります。

■ 「AP7000/60L」の仕様

1. VOS パーティション部

オペレーティングシステム		VOS1/LS
項目		
命令プロセッサ		1
入出力プロセッサ		1
主記憶装置(*1)	記憶容量	256 MB ~ 512 MB
	増設単位	256MB
高速パラレル機構		オプション
チャンネル	最大チャンネル数	6
内蔵磁気ディスク装置(*2)	記憶容量	3.8GB(2) ~ 49.1 GB(26)
内蔵 DAT 装置(*2)	最大記憶容量	20GB /カートリッジ
内蔵 LAN アダプタ		1 ~ 4
通信制御装置(*3)	最大回線数	24
	最大伝送速度(*4)	1.5Mbps

2. AIX パーティション部

オペレーティングシステム		AIX 5L V5.2(*5)
プロセッサ	名称	POWER4+
	プロセッサ数	1 ~ 2 way
	クロック・レート	1.2 GHz
	命令キャッシュ(*1)	64 KB
	データキャッシュ(*1)	32 KB
レベル2 キャッシュ(*1)(*9)		0.75 MB
レベル3 キャッシュ(*1)(*9)		4 MB
メモリ容量(*1)	最小 ~ 最大	1GB ~ 16GB
内蔵ディスク容量(*2)	最小 ~ 最大	36.0GB ~ 1761.6GB
拡張 PCI スロット本数(*6)		最大 7 (*10)

3. 共通

モデル		AP7000/60L
項目		
外形寸法(*7)	幅 × 奥行き × 高さ	600mm × 998mm × 1,400 (または 1,700) mm
電源設備		100V
省エネ法に 基づく表示	エネルギー消費効率(*8)	0.055
	区分	F

*1) 1KB(キロバイト) = 1,024 バイト、1MB(メガバイト) = 1,024² バイト、1GB(ギガバイト) = 1,024³ バイトです。

*2) 1GB(ギガバイト) = 1,000³ バイトです。

*3) 拡張装置に搭載または「内蔵回線アダプタ」を使用。

*4) 1Mbps(メガビット/秒) = 1,000² ビット/秒です。

*5) 「EP8000 630 model 6C4」(1way または 2way) 相当のハードウェア機構を装備。

*6) VOS パーティションで未使用部分を使用可能。

*7) 基本ラックの寸法(拡張装置などの寸法は含まれていません。)

*8) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

*9) 1プロセッサあたりのサイズです。

*10) VOS パーティションで未使用部分を使用可能。但し、標準で 2 スロット使用済みです。

■ 他社所有商標に関する表示

・UNIX は The Open Group が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

・AIX は、米国およびその他の国における米国 International Business Machines Corp.の登録商標です。

・LTO は、米国における米国 Hewlett-Packard Company/米国 International Business Machines Corp. および米国 Seagate Technology, Inc.の登録商標です。

・ORACLE は、ORACLE Corporation の登録商標です。

・その他記載の会社名、製品名、ロゴはそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
